

令和7年度圏域の事業計画および評価

(南部地区)

守山学区

小津学区

守山市地域包括支援センター

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画					
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務			
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。				
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○			
		より工夫して できている	できている	工夫が必要	
1 地域におけるネットワーク構築	学区の民生委員・児童委員、福祉協力委員等、公民館と日頃から連携し、地域の高齢者に関する相談などがし易い関係性を構築する。		○		
	支援が必要な高齢者等の情報が届くよう、担当学区内の医療機関・マンションなどにセンターの周知啓発を行う。		○		
2 高齢者の実態把握	昨年度に実態把握した生活環境区とは違う環境の自治会の実態把握をおこない、それぞれの地域性についての把握ができるようにする		○		
3 相談窓口機能	ワンストップサービスの拠点として、関係機関と連携することで速やかな支援に繋がれるようにする。	○			
	相談内容については、3職種で共有し、緊急時には、担当者不在でも速やかに対応できる体制を整える。	○			
4 専門的な相談支援	高齢分野以外の専門的な相談にもワンストップ窓口として対応できるよう、関連する福祉制度についても知識を習得する		○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括				
	2年前から高齢化率の高い自治会へのアウトリーチを継続しており、令和8年度からの本格始動に向けて準備を始めた。相談を待っているのではなく、自ら地域に出向くことで実態把握がおこなえ、相談窓口としての周知や緊急時の速やかな介入にも効果があると評価できた。				
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント 市民に身近な相談窓口を目指し、積極的なアウトリーチ活動に取り組むことができた。今後も継続した活動を期待しています。		
	より工夫して できている	できている			工夫が必要
	○				

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	ハイリスクのケースについてはケアマネや関係者と密に情報共有をはかり、リスクの早期発見と対応に努める。	○		
2 成年後見制度等の活用促進	後見センターもだまや社会福祉協議会と連携し、権利擁護事業、成年後見制度の速やかな利用支援をおこなう	○		
3 消費者被害の防止	消費者被害の有無等の情報を収集し消費生活センター等と連携して速やかな対応・支援へとつなげる。		○	
	出前講座での注意喚起・啓発活動をおこなう。		○	
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	虐待対応についてはハイリスクなケースには早期介入に努め、積極的にケアマネジャーとも連携をはかっている。また、署内での事例検討にて虐待ケースの支援の方向性を検討することとしており、丁寧なアセスメントと早期の介入が南部圏域の虐待発生ケースの少なさに繋がっているのではないかと評価している。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	日ごろからのケースへの予防的な介入により、虐待事案の抑止ができている。今後とも先を見据えた支援の継続を期待しています。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	支援困難ケースへの支援については、介護支援専門員とともに状況の改善にむけて課題整理をおこない支援について考え、介護支援専門員が孤独にならないようフォローしていく	○		
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	介護支援専門員が民生委員や地域役員等と関係性が築けるよう意見交換会を定期開催する。		○	
3 地域におけるネットワーク構築	ケースの課題解決にむけて介護支援専門員と関係機関・地域役員等が集まり検討できる場を設ける。		○	
	介護支援専門員と地域の役員や集いの場などをつなぐことでインフォーマルな社会資源としてケアプランへの位置づけをおこなえるようにする。		○	
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	公的サービスだけでは埋まらないニーズに対して、インフォーマルな社会資源との繋ぎがおこなえるよう努めている。南部で行っているカフェや自治会単位で行われているサロンなど地域の方も生活に取り入れられるよう情報提供している。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	困難事例への支援、社会資源の情報提供、民生委員とのネットワークの構築など様々な手法で介護支援専門員の支援が実施できた。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価: 南部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	家族介護者教室や出前講座等を通して市民への在宅医療・介護に対する知識や意識の啓発を行う。		○	
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	難病、ガン末期等のケースは、在宅医療・介護連携サポートセンターを通し、近隣病院の地域医療連携室等と連携を図る		○	
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	近隣病院の地域医療連携室等窓口と日頃から連携を密に行い、入退院支援と合わせて在宅での療養支援についても連携をはかる		○	
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	がん患者を中心に、各状態のステージに合わせ役割分担をしながら在宅療養の連携支援をおこなった。また、エンディングノートがリニューアルされたタイミングで地域に普及啓発をおこない講座の実施につなげた。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	がん患者に対する在宅療養支援の連携体制を強化し、各ステージに応じた支援を実施できた。つなぐノート(エンディングノート)の普及啓発も効果的で、ACPの促進につながりました。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価: 南部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症施策推進基本計画、第9期守山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、以下を重点事項とする。 (1)認知症地域支援推進員が中心となり、認知症に関する正しい知識の普及啓発に努める。 (2)認知症初期集中支援チーム員として、認知症の早期発見・早期支援に努め、発見後の積極的・断続的な関わりを通して事案の複雑化・困難化の予防に努めること。 (3)認知症の人や家族の相談体制を整え、認知症の人の意向を尊重した支援を適切に行うことで、認知症の人とその家族が地域において安心して日常生活を営めるよう努める。 (4)チームオレンジ活動を推進し、認知症の人が個性や能力を発揮することで、地域生活において役割や生きがいを持てる共生社会の推進を図ること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	圏域内の福祉事業所、開業医等高齢者との関わり合いの深い事業所などを訪問し、認知症施策を広くPRする。	○		
	認知症サポーター養成講座の開催を呼びかけ、自治会、事業所等で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の正しい知識の普及啓発を行う。	○		
2 認知症の早期発見・早期支援	サロンや出前講座等で、認知症の早期発見の啓発を行い、南部包括が認知症に関する相談窓口でもあることやオレンジカフェのPRする。	○		
	圏域内の高齢者が出向く商業施設や事業所等を訪問し、認知症の早期発見を啓発する。	○		
3 認知症の人と家族への支援	当事者・介護者・地域住民が継続して通える「お結びカフェ」を月1回定期開催する。 カフェに職員が参加することで、信頼関係を深め、参加者が日頃から相談しやすい関係性を築く。	○		
	ケース対応時など、介護者や認知症の初期症状が見受けられる人にカフェへの参加をすすめ、定期的に見守る。	○		
4 認知症の人と家族を支える地域づくり	「みまも～り～カフェ」実施自治会認サポ受講をすすめ、認知症当事者や家族などの居場所を地域に広げる。		○	
	『お結びカフェ』のボランティアにチームオレンジとして主体的に活動できるよう働きかける。また小津学区でのオレンジカフェの立ち上げを行う。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	南部包括が特に力を入れているカフェについては、他圏域の包括や関係者から他圏域のケースの利用相談が増えている。属性を問わず誰もが集える場として活性している反面、運営にあたるスタッフの数が不足気味であるため安定した運営のためにもボランティアスタッフの確保が課題である。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	認知症サポーター養成講座や認知症啓発活動について、薬局や小売店、商業施設などに積極的に働きかけいただいた。今後も、地域における認知症の正しい理解の普及啓発活動の継続を期待しています。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、地域における課題の抽出や介護支援専門員の支援等を行うなか、担当地区の実情に応じた取組や資源開発を行い、必要に応じて政策提言等に繋げること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 地域ケア会議の開催	地域のケアマネジャーから支援困難ケースの相談があった際は地域ケア個別会議を開催し課題整理を含め検討できる場を設ける。		○	
2 資源開発および政策提言	地域ケア個別会議で明らかになった地域課題を地域ケア推進会議にあげ、解決のための政策提言をする。		○	
3 その他	ケアマネジャーと民生委員等とともに地域課題について考え合える会を定期開催する		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	支援困難ケースの検討は多く開催し、地域課題も抽出するがその課題に対してどのように取り組みに展開させるかの進め方に行き詰っており、仕組みづくりなどについて行政や関係機関との更なる連携相談が必要と考える。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	困難ケースの検討、推進会議への事例提供などにより地域課題について検討することができた。
		○		

地域包括支援センター事業計画書および評価：南部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。家族介護者訪問等を活用し、認知症の人のみならず家族等に対する実態把握により、認知症の人及び家族等が地域において安心して日常生活を営むことができるように関係者と連携し支援すること。また、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介護者支援事業	地域の専門職と連携して関心の高そうなテーマを検討し、参加しやすい回数で「家族介護者教室」を実施する。		○	
2 家族介護者訪問	訪問前後に介護支援専門員と情報共有し、介護負担の軽減をはかるための連携がおこなえるようにする。		○	
3 その他	自前・出前講座の終了後、個別の介護相談を受ける時間をもつ等、相談しやすい環境づくりに努める。	○		
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	これまで毎年実施してきた定例の介護者教室の持ち方について、「参加者の関心の高いテーマ」を改めて検討し、また、「より参加しやすい環境」についても協議をおこなった。地域に出向く出張型教室の形で開催することでより身近に感じられる場となることを期待し令和8年度から実施することとした。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	介護者の教室への参加促進のため、テーマや環境について工夫いただいた。出張講座の検討もされ積極的な取り組みが見受けられた。引き続き、家族が安心して日常生活を送ることができるような支援を期待しています。
	○			

地域包括支援センター事業計画書および評価: 南部地区地域包括支援センター

令和7年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和7年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 介護予防把握事業	地域の集いの場を把握し、必要時に速やかな連携がはかれるよう地域役員等との関係づくりに努める。また、インフォーマルな社会資源として、介護支援専門員に周知することでケアプランへの位置づけを推進する		○	
2 介護予防普及啓発事業	介護予防教室を前期高齢者向け・後期高齢者向けに分け、それぞれの年代のニーズに合った内容で実施できるようにする（周知効果の大きい学区広報を中心に）。教室終了後も継続して取り組めるよう地域の自主教室の情報提供をおこなう。		○	
3 地域介護予防活動支援事業	地域に出向き、出張型の介護予防教室を自治会単位で実施する。（各学区1自治会ずつ）		○	
	各会館と連携をはかり、会館主催の教室で出前講座を1回以上実施する。		○	
4 その他	両学区の広報誌に健康や、介護予防などの記事、主催事業の案内などを掲載することで、介護予防や包括の情報を広く発信する。		○	
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
	介護者教室と同様、地域へ出向きアウトリーチする重要性に着目し出張型での開催を前提とした計画を始めた。これまでの開催を評価し、令和8年度からは地域出張型での開催をおこなうことを計画している。			
評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	アウトリーチ型の事業展開を計画されているとのことと、次年度はより地域と密着した事業展開を期待しています。
		○		

守山市地域包括支援センターあて

居宅介護支援事業所選定支援状況報告書

事業所名

令和8年3月末現在

1 利用者が決定した事業所等件数（令和7年4月～令和8年3月）

居宅介護支援事業所名	件数	主な決定理由
有限会社びわこメディカル	2	・ 要支援者受入れ可能事業所 ・ 本人の希望を受け
ゆうらいふ	22	・ 要支援者受入れ可能事業所 ・ 家族の希望を受け ・ 即時対応可能事業所 ・ 医療に強い事業所 ・ 本人の希望を受け ・ 困難ケース受け入れ可能事業所
社会福祉法人慈恵会 ゆいの里守山	12	・ 要支援者受入れ可能事業所 ・ 家族の希望 ・ 即時対応可能事業所 ・ その他（夫婦で受け持ち可能）
いおり	2	・ 家族の希望 ・ 即時対応可能事業所
くらしサポート華	6	・ 家族の希望 ・ 要支援者受入れ可能可能事業所
社会福祉法人友愛三宅ケアセンター	2	・ 本人の希望
ケアサポート愛	10	・ 家族の希望 ・ 要支援者受入れ可能事業所 ・ 困難ケース受け入れ可能事業所 ・ 即時対応可能事業所

しがそせい苑	8	・ 本人の希望 ・ 家族の希望 ・ 要支援者受入れ可能事業所 ・ 困難ケース受け入れ可能事業所 ・ 即時対応可能事業所 ・ その他（夫婦で受け持ち可能）
またあした	8	・ 知人や家族が利用していた ・ 家族の希望 ・ 即時対応可能事業所 ・ その他（障害からの移行ケース・夫婦で受け持ち可能）
守山市社会福祉協議会	5	・ 知人や家族が利用していた ・ 本人の希望 ・ 要支援者受入れ可能事業所 ・ その他（土日対応可能）
あいむ勝部小規模多機能	1	・ その他（小規模多機能の必要性あり）
あいむケアプランセンター	4	・ 知人や家族が利用していた ・ 本人の希望 ・ 要支援者受け入れ可能事業所 ・ 即時対応可能事業所
おうみの里ほたる	4	・ 小規模多機能型を希望 ・ 即時対応可能事業所 ・ その他（小規模多機能の必要性あり）
なかさと CCS	3	・ 要支援者受入れ可能事業所 ・ 即時対応可能事業所 ・ その他（訪問看護の法人居宅を選定）
ケアプランセンターあやめの里	5	・ 知人や家族が利用していた ・ 要支援者受け入れ可能事業所 ・ 困難ケース受け入れ可能事業所
医療法人社団 真下胃腸科医院	1	・ 家族の希望
日昇パートナーズ	12	・ 要支援者受け入れ可能事業所 ・ 即時対応可能事業所 ・ 男性ケアマネが適切と判断

医療法人周行会	1	・困難ケース受け入れ可能事業所
しみんふくし滋賀	1	・その他（野洲病院と連携希望）
野洲すみれ苑	1	・その他（女性ケアマネジャー希望）
ケアプランセンター楓	1	・家族の希望
済生会居宅	1	・家族の希望
ミライリハケアプラン栗東	5	・要支援者受け入れ可能事業所

＜令和 7 年 3 月現在調整件数 117 件＞

2 全体評価

・インセンティブが開始されてからややケアマネジャー選定に要する時間が短縮した印象を受ける

・即時対応可能な事業所・要支援者受け入れ可能事業所・支援困難事例の受け持ち実績が多い事業所は限られており、同じ事業所に負担がかかっている状況は変わらない